

バックアップとリストア（復元）について

らくほんNextのデータが壊れる要因には、実に様々なものがあります。

- 人的ミス（誤操作、削除誤り、更新誤り、勘違い、…）
- ハードウェア障害（物理的障害、経年劣化、不具合、…）
- ソフトウェア障害（バグ、他ソフトとの競合…）
- ウイルス感染
- 災害（停電、火災、盗難、地震、結露、熱暴走、…）
- 犯罪（不正侵入、改ざん行為、持ち出し、…）
- その他



これら多くの要因を100%防止することは不可能です。このようなリスクからデータを守るために、データのコピーをとって保管しておく必要があります。これを「バックアップ」といいます。

らくほんNextのバックアップ手段

- 日毎バックアップ

[基本設定](#) → バックアップ → 「起動時に日毎バックアップをおこなう」にチェックすれば、らくほんNext 起動時にバックアップ実行。バックアップ先はC:¥Rakun

- [バックアップA・B](#)

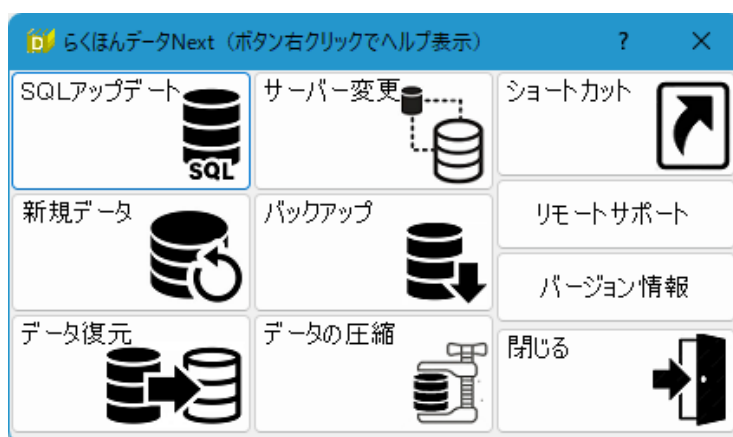
バックアップ先設定：基本設定 → バックアップ → 「バックアップ先A・B」を設定し（空白時はインストールフォルダC:¥Rakun）

➢ 基本設定 → 「終了時のバックアップ」でAかBどちらかにバックアップ

➢ メニューバー → ツール → 「バックアップA」「バックアップB」で随時バックアップ可能

- [らくデータNextのバックアップ](#)

バックアップ先を指定してバックアップできます。



最低限のバックアップ

- [基本設定](#) → バックアップ → 「起動時に日毎バックアップをおこなう」にチェック
- 基本設定 → 「終了時のバックアップ」AかBどちらかにチェック

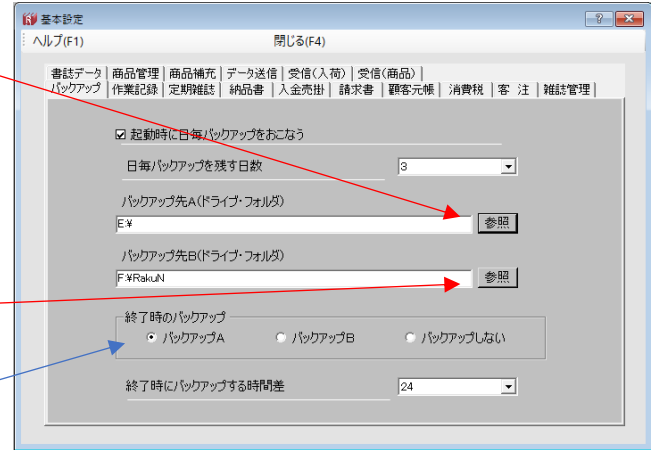
トラブった後に不用意にバックアップを繰り返すと、有効な復元のファイルが上書きされて消されることもありますのでご注意ください



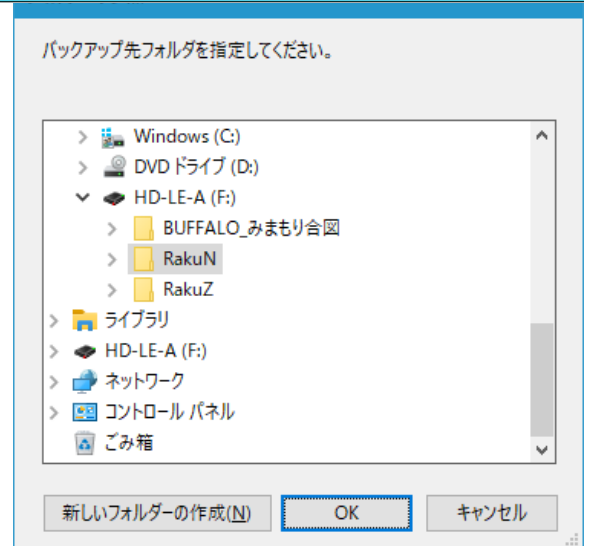
推奨するバックアップ手段

複数の64GB以上のUSBメモリー、もしくは外付けハードディスクを用意

- 基本設定 → バックアップ → 「バックアップ先A」
参照ボタンを押し、取り付けたUSBメモリー（もしくは外付けハードディスク）内のフォルダを指定して「OK」ボタンを押して指定。
元の基本設定画面でそのフォルダが指定されていることを確認してください。
- 基本設定 → バックアップ → 「バックアップ先B」
同様にもう一つのUSBメモリー（もしくは外付けハードディスク）を指定



基本設定「終了時のバックアップ」で指定していない方のバックアップを随時メニューバー → ツール → 「バックアップO」でおこなう

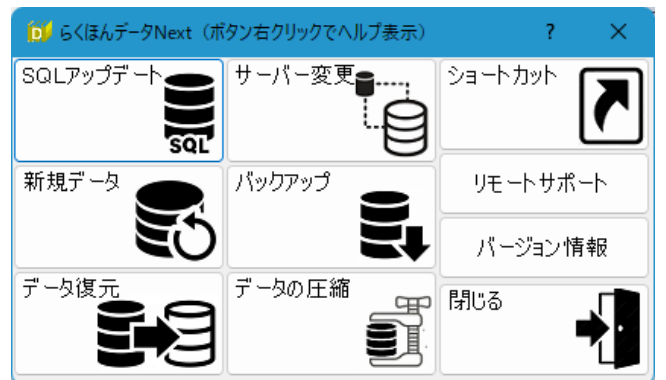


リストア（復元）方法

らくデータNextの「データ復元」でおこなえます
その手順は[ヘルプ・データ復元](#)をご覧ください

不用意にリストア（復元）をおこなうとデータの整合性が保たなくなることもあります。間違って過去のデータに復元することもあり得ますので十分に注意しておこなってください

- 以前のデータに復元した場合、SQLアップデートが必要な場合があります
- リストア(復元)する際は復元元のファイルが間違っていないかなど最新の注意をしておこなってください。



複数のパソコンで使用される場合

起動時・終了時のバックアップは、サーバーパソコンで操作される場合に有効です。普段、サーバーPCでらくほんNextを使用されない場合はWindows付属のタスクスケジューラ機能をご利用ください。詳しくは[タスクスケジューラによるバックアップ](#)